

# 第49回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

1 開催日 2022年 7月 28日 13:00~(15:00) 第4木曜日  
大阪工場内 ゆうゆう会館 ㊦

2 参加人数 ・女性2名を含む 計9名

3 今回の季語 第49回 かわせみ会  
七月(文月)にかかわる季語



## 4 選句の結果

- ・ 名刹の大樹ゆるがす蝉時雨
- ・ 日盛りのしづき目眩ゆき堰の水
- ・ 添書に又あいましよ夏見舞
- ・ かき氷こめかみ押えてさじ運ぶ
- ・ ささかざりたんざく文字は孫の手で
- ・ 風渡る青葉の林蝉の声
- ・ 乳呑み児と蝉のなき声耳を裂く
- ・ 彩競う江戸伊勢肥後は花苧蒲
- ・ 葉隠れの化け物面の大胡瓜
- ・ 親子ずれぎおん祭りはかた車
- ・ 早朝に激しく鳴くや蝉の声
- ・ 子ら二人朝の公園逃げる蝉
- ・ 夕焼けの色を残して夏的大海
- ・ そよ風に滝しづき舞い癒しの場
- ・ 焼茄子の皮剥ぐ指に纏いけり
- ・ 朝六時早く起きよとせみの声

## 5 講評・添削 披講; 東さん

- 1) 語彙・表現良い句、見直すべき句  
 ・木々揺する森を鳴き裂く蝉しぐれ  
 ↳ "引き裂く"の表現の方がよいのでは!  
 ・誘われしランドゴルフ汗しど  
 ↳ 汗びっしより濡れるさま  
 ・五味の市片蔭の店銭が翔ぶ \*翔ぶ=形の無い物を表現するとき使用  
 ↳ "かたかげ" 午後の日差しが建物や塀などに影をつくる様子
- 2) 変則(偏重)句  
 ・猛暑参拝 体調 良き祈る ⇔ ・猛暑参拝 体調 良きを祈る  
 7 5 5 ⇔ 7 5 6 ↓ 破調
- 3) 季語無  
 ・スマホ見る目の輝き電車客
- 4) 季語重なり  
 ↳ 6月の終り頃梅雨明け鳴き始め  
 ↳ 油蝉⇒みんなん蝉(深山蝉)⇒ま蝉⇒七月蛸(ひぐらし)⇒八月つくつく法師(寒蝉)  
 ↳ 注) 季語としては"秋(立秋後)"  
 ・風渡る青葉の林蝉の声 ⇔ ・風の波青葉の林蝉の声  
 ↳ 初夏(4月下旬~6月上旬)

## 選外句

- ・微風に風鈴の音色夢心地
- ・浴衣着てカランコロんと下駄の音
- ・哀れなる短き命蝉の腹
- ・テレビ音量競い合うかな蝉合唱
- ・砂浜に白波来たり船進む
- ・木々揺する森を引き裂く蝉しぐれ
- ・青柿や落ちてふまれてはかなしき
- ・猛暑参拝体調良き祈る
- ・五味の市片蔭の店銭が翔ぶ
- ・誘われしランドゴルフ汗しど
- ・スマホ見る目の輝き電車客

6 次回(#50)開催日 2022年 8月 25日 13:00~(15:00) 第4木曜日  
兼題: 八月の季語全般 (季語重なりがないこと!)  
大阪工場内 ゆうゆう会館 ㊦

※季語の区分は五つ(正月・春・夏・秋・冬)です、夏は立夏(5/5頃)~8月であり、季語が重なっている。基本としては"季語重なり"はしないほうが良いが、意識して行うことがある。